



2020年4月20日

各位

会社名 株式会社リンガーハット
代表者名 代表取締役社長兼CEO 佐々野 諸延
(コード: 8200、東証第1部、福証)
問合せ先 常務取締役 小田 昌広
(TEL. 03-5745-8611)

特別損失の計上、業績予想と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2020年2月期におきまして特別損失を計上し、2020年1月14日に公表した2020年2月期通期連結業績予想と本日公表の決算において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、2020年4月20日開催の取締役会において、2020年2月29日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、収益性の低下が見られたため、店舗に係る減損損失として12億71百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 2020年2月期 通期連結業績予想値と実績値との差異 (2019年3月1日～2020年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 48,000	百万円 1,800	百万円 1,700	百万円 550	円 銭 22.10
実績値 (B)	47,279	1,554	1,460	△210	△8.46
増減額 (B-A)	△721	△246	△240	△760	
増減率 (%)	△1.5	△13.7	△14.1	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年2月期)	46,928	2,394	2,310	837	33.58

(2) 差異の理由

2020年2月以降の新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、既存店への来店客数が鈍化したことにより、売上高が業績予想を下回ることとなりました。営業利益、経常利益につきましても、同様の理由から業績予想を下回ることとなりました。

さらに、店舗売上等への影響を考慮し、保有する固定資産について将来の回収可能性を再検討した結果、12億71百万円を減損損失に計上いたしました。以上により、親会社に帰属する当期純利益 (△は損失) は△2億10百万円となり、2020年1月14日に公表しました通期連結業績予想を下回ることとなりました。

3. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2019年4月12日発表)	前期実績 (2019年2月期)
基準日	2020年2月29日	同左	2019年2月28日
1株当たり配当金	5円00銭	7円00銭	7円00銭
配当金の総額	125百万円	—	175百万円
効力発生日	2020年5月29日	—	2019年5月27日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、効率的な経営体制の整備と積極的な店舗展開により、継続的かつ強固な収益基盤を確立することで、株主へ安定した利益還元を行うことと、企業の成長を最優先として経営にあたっており、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、当期純利益が予想を大きく下回ったことから、誠に遺憾ではございますが、1株につき5円（年間10円）へ修正させていただくものです。

なお、本件は2020年5月28日開催予定の当社第56期定時株主総会の決議を経て、実施いたします。

<参考>年間配当金の内訳

基準日	1株当たり配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
当期実績	5円00銭	5円00銭	10円00銭
前期実績（2019年2月期）	5円00銭	7円00銭	12円00銭

以上